

## 第2回 旧門司駅関連遺構等の展示方策等懇話会 委員意見

遺構・出土品の本質的な価値（特徴的な部分）や時代性、史実を正確に伝わりやすく、わかりやすく表現

子ども達やゼロ知識の方（無関心層）にも興味を持ってもらえる展示

展示空間全体が遺構のブランディングに寄与するようなデザインイメージ

遺構の床上、床下展示の見せ方、温湿度、光の管理を検討

周辺施設と連動したコンテンツの打ち出し

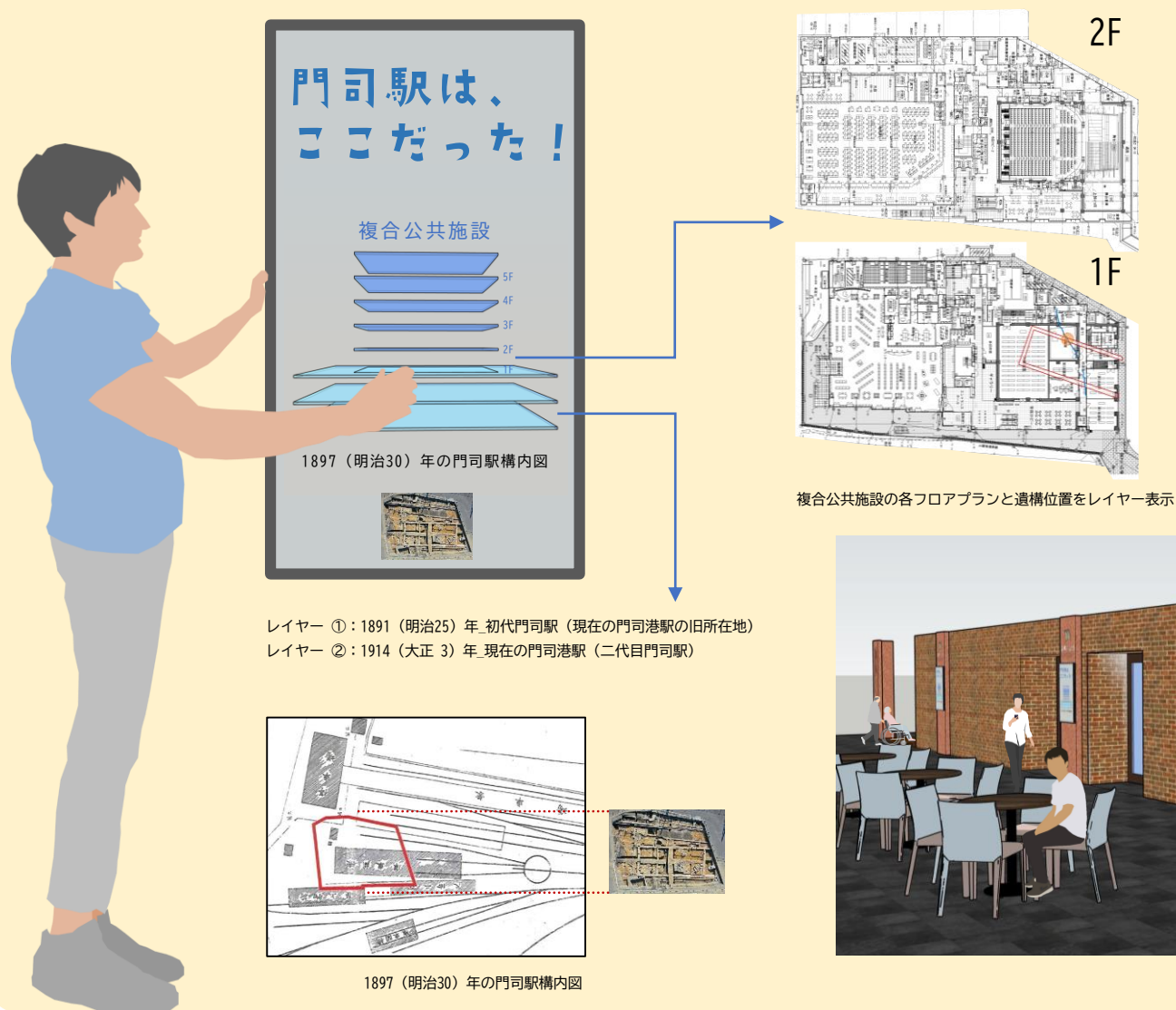
# だれにでもわかりやすい動機づけ展示

「だれでもタイム・ウィンドー」で興味津々

【移築であることをどう表現していくか  
(切り出した遺構の場所をどう表現するのか)】

○ 各時代駅舎遺構と複合公共施設の立体構造(3D)で  
遺構(移設)の切り出し場所を知る

- ・ 事例-1:映像 (3D-CG)
- ・ 事例-2:構造模型 (複合公共施設の各階サイン)



【子ども・ゼロ知識の人にも興味を持ってもらえる展示】

○ ゲームで学ぶ「旧門司駅関連遺構から明らかになった往時の歴史、産業、景観、人々の暮らし」のキッカケづくり

- ・ 事例-1:コンテンツ「発掘！ 遺構パズル」(3層ジグソーパズル)
- ・ 事例-2:コンテンツ「初代門司駅は、ここだった！」



【参考】ボクと博物館-Google Playのアプリより



構造模型のイメージ (複合公共施設の各階サイン)

# 展示空間における「遺構のブランディング」

## 遺構のリアルバリューの認知と共感

市民ロビー 通路壁

展示コーナー（遺構の本質的な価値を伝える）

Time-Window（過去と未来を旅する窓）

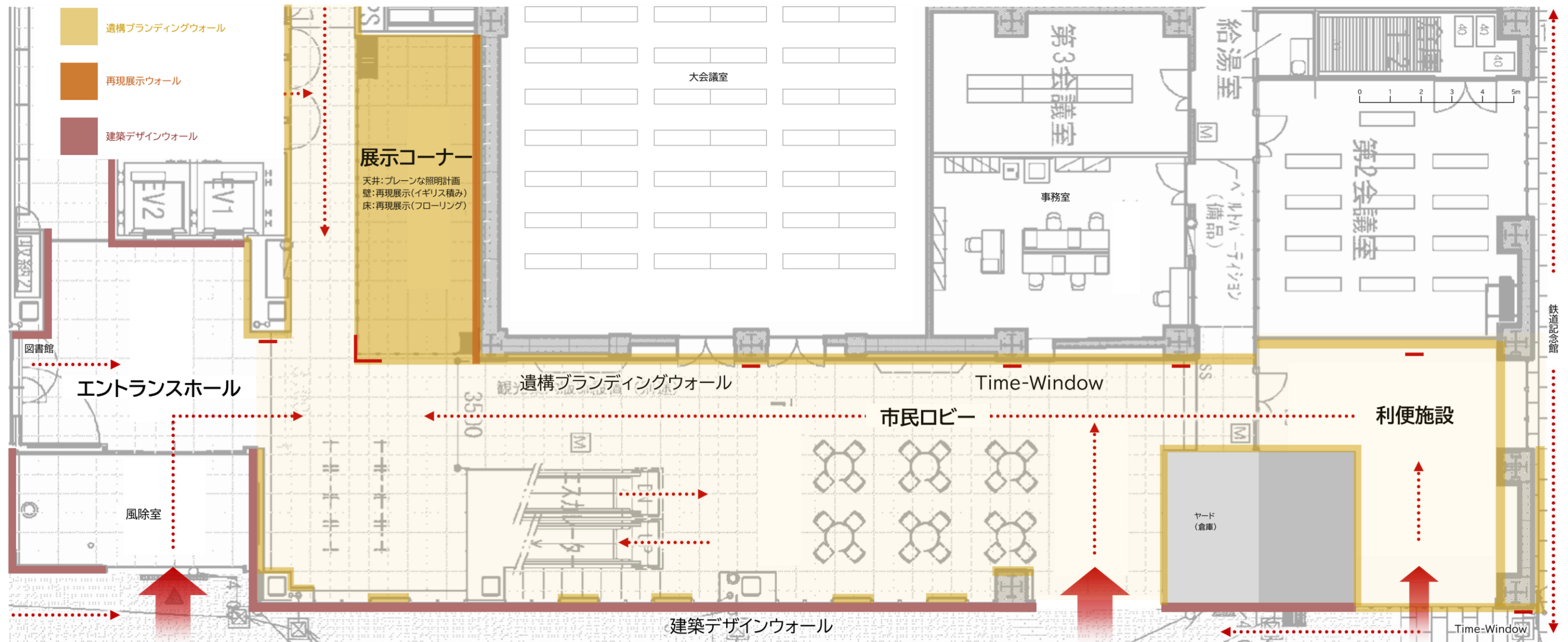
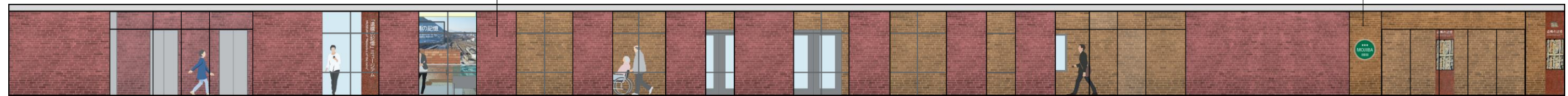
便利施設（カフェ etc.）



九州鉄道記念館

建築の壁仕上材は、**建築デザインウォール**と**遺構ブランディングウォール**

外観（北西側）

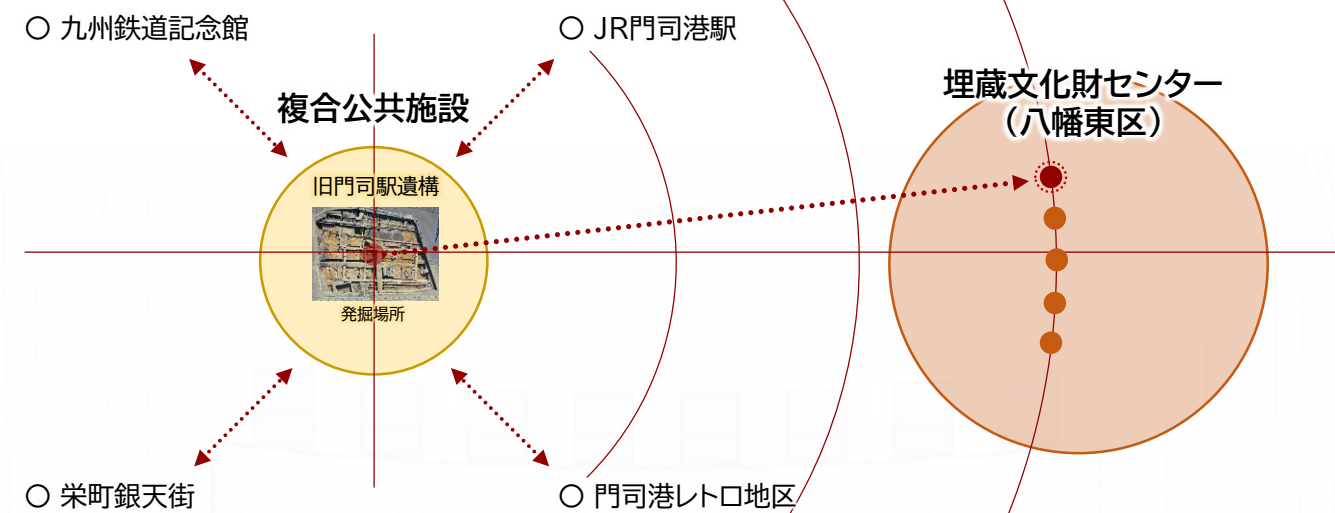


# 旧門司駅関連「切出し遺構」の展示手法における構成員の意見

|                                 |                                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 遺構の価値の伝わりやすさ                    | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 海岸線の波打ち際に作った構造物ということで、埋め立ての関係が重要であるため、基礎の構造が部分部分で違うということをわかりやすく伝える表現がポイント</li><li>○ 木杭と胴木による基礎構造を展示することで近世と近代の技術の融合を実感することもできる</li></ul>                                                                 |
| 展示空間の演出                         | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 東北の展示物は、本当にクリアに見える(床下)展示で、その遺跡の上に立つという喜びや感動を覚えた</li><li>○ 床下展示案では、時代の変遷の変化をリアルに感じ取れる実態感は表現できる</li><li>○ 床下にあるほうが、気になって「これは何だ」とのぞくような気がする</li><li>○ 床上展示案では、構造を目の高さで体感できる表現の仕方になる</li></ul>               |
| 遺構の温湿度管理、<br>光の管理、<br>メンテナンス性 等 | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 西小倉駅前のところにある(床下)展示物がどうしても水滴に覆われて中身が見えなくなる</li><li>○ 文化財のレベルで求められる温湿度の管理や光の管理は、一般的な事務所スペースとか、図書館とかで求められるものとレベル感が違う可能性がある</li><li>○ 床上に展示しておけば、南海トラフ地震による津波が到達する3時間よりも前に、安全な場所に移動させることができるかもしれない</li></ul> |

# 埋蔵文化財センターと連動したコンテンツの打ち出し

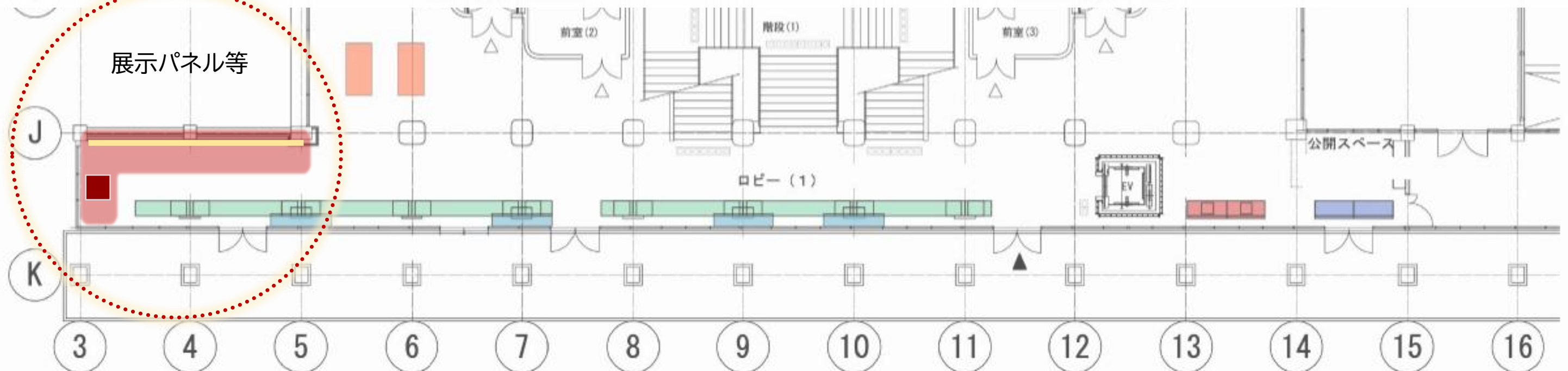
埋蔵文化財センターにおいて遺構の展示を検討する  
（屋外の展示も含め検討）



埋蔵文化財センター(旧八幡市民会館)

展示検討箇所

展示パネル等



## 出土品の有効活用(案)

### ○ 関係機関へ譲渡もしくは貸与

- ・ 譲 渡 先：JR等鉄道に関する研究機関、展示施設
- ・ 活用方法：鉄道の発展や歴史を後世に伝えていくために活用することを前提とし、他者に転売又は譲渡することは不可
- ・ 条 件：施設のオープンに際しては、北九州市と連携して、企画展等を行うこと  
また、継続的に北九州市と連携して、企画展を開催すること

### ○ 公募により譲渡

- ・ 譲 渡 先：門司区でまちづくり活動の実績のある団体や大学等の研究機関
- ・ 活用方法：門司の発展や歴史を後世に伝えていくために活用することを前提とし、他者に転売又は譲渡することは不可